

令和6年度（2024 年度）

令和6年7月31日（水）熊本市議会の本会議場において「子ども議会（中生連夏季研修会）」を開催し、熊本市内の市立・私立・国立の各中学校の代表生徒51人が参加しました。

この子ども議会は、「こども基本法」と「熊本市教育振興基本計画」の基本理念に則り開催されたもので、中学生にとって一番身近な社会である学校を議題とし、「全校生徒が本気で取り組む学校づくりについて話し合おう！～私たちの『声』が生きる学校をめざして～」をテーマに、4つの分科会に分かれて話し合いました。

研修Ⅰ 「こども基本法」及び「児童の権利に関する条約」について学ぶ



こども家庭庁作成の動画とパンフレットを教材として、こども基本法の基本理念等について知るとともに、この法律が作られた理由や子ども議会の目的とのつながりについて考えました。

研修Ⅱ 4つの分科会に分かれて話し合う



「私たちの『声』が生きる学校」とはどんな学校か、めざす学校像について話し合いました。そして各学校の課題や現状の取組を出し合い、めざす学校に近づくためにどんなことができるかアイデアを出し合いました。

研修Ⅲ 本会議場での意見表明



研修Ⅱで考えたことを分科会ごとに発表しました。

【A 分科会が目指す学校像と具体的提案】

「学年を超えた温かさのある学校」

- ・意見を言える場の設定
- ・話し合い活動の仕方の工夫
- ・意見を出したくなる議題の設定

【B 分科会が目指す学校像と具体的提案】

「生徒一人ひとりが主役で意見を尊重し合う学校」

- ・発表者の固定化を解消するために

- ・意見を受け入れるルールづくり
- ・生徒議会等へ参加するメンバーの工夫
- ・タブレット等を活用したアンケートや意見箱の活用

【C 分科会の目指す学校像と具体的提案】

「生徒主体で、考え行動でき、誰もが認め合い挑戦できる学校！」

- ・生徒が意見を言える場を増やす
(月目標を生徒が立てる・議会等の前にアンケートを実施・放課後の生徒会議)
- ・学校をよりよくしていく雰囲気づくり(課題を可視化)
- ・生徒の関係づくり(3T(楽しい・短時間・達成感)ある取組)

【D 分科会が目指す学校像と具体的提案】

「一人一人の意見が尊重され、反映され、みんなが行きたくなる学校」

- ・意見が反映される実感(校則見直し等の場の設定・校内放送で事例を伝える)
- ・生徒会活動の活性化(生徒会によるお昼の放送・生徒会新聞のデジタル化)

それぞれの発表に対して、フロアからも質問や意見がたくさん出て、活発な意見交換ができました。



関連記事：熊本市教育委員会 Kumamoto Education Week2025.1.13-19
 プログラム [「私たちの「声」が生きる学校～全校生徒が本気で取り組む学校づくり」前編](#)
 プログラム [「私たちの「声」が生きる学校～全校生徒が本気で取り組む学校づくり」後編](#)